

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月29日

協議会名: 夕張市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
丸北ハイヤー有限公司	デマンド南部線 南清水沢～南部	平成29年4月運行開始の新規事業であるが、平成27・28年度に行った実証実験のデータを参考として事業を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 実証運行結果を反映した計画運行回数に対し運行割合84%と目標値を上回り、利用者数は180名を目標としていたところ、202名の利用者があり、目標値を上回った。	平成29年10月、ほぼ同一経路を運行する路線バスの廃止に伴い、利便性確保のための増便(3便/日→7便/日)を行うとともに、単独路線となったことによる運賃改定(最大410円→全線均一200円)を行った。 また、南部地区において、上記変更内容の周知と利用促進を図るため、自治会長への説明と、住民への説明会を実施している。今後も利用者ニーズの把握、また運行内容に関する情報発信の場として、実施していく。